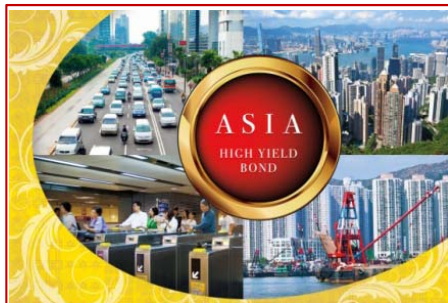


2015年7月27日  
日興アセットマネジメント株式会社



## アジア・ハイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) / (為替ヘッジあり)

### 今後も堅調な推移が期待される アジア・ハイールド社債

日本を除くアジアの国・地域の企業などが発行する米ドル建てのハイールド社債を中心に投資を行なう当ファンドは、設定(2012年6月12日)以降、アジアのハイールド社債の堅調な推移を背景に良好なパフォーマンスとなりました。特に「為替ヘッジなし」の基準価額は、円安・米ドル高傾向も後押しとなり、大きく上昇しました。これを反映し、2015年7月の決算においては、「為替ヘッジなし」の分配金額を150円(税引前、1万口当たり)へと引き上げました。

ここで、当ファンドの設定来の基準価額の推移や、アジア・ハイールド社債の魅力について、改めてご紹介させていただきます。

#### 為替ヘッジなし 基準価額と分配金の推移

(2012/6/12(設定日)~2015/7/17)



<基準価額(税引前分配金再投資ベース)の騰落率>

2012年	2013年	2014年	2015年	設定来
22.35%	26.59%	17.32%	6.14%	92.86%

※2012年は設定日から12月末まで  
※2015年は7月17日まで

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。  
※基準価額(税引前分配金再投資ベース)とは、分配金(税引前)を再投資したのものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

※分配金額は収益配分方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「アジア・ハイールド債券ファンド(為替ヘッジなし) / (為替ヘッジあり)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

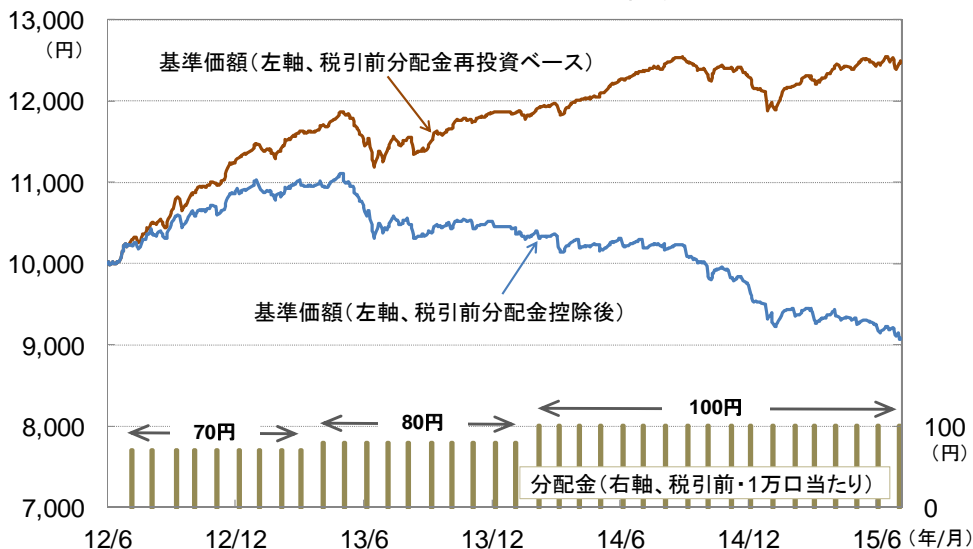
**(ご参考) 設定来、為替は米ドル高傾向に**



※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

**為替ヘッジあり 基準価額と分配金の推移**

(2012/6/12(設定日)～2015/7/17)



**【基準価額】**  
**12,491円**  
 (税引前分配金再投資ベース)

**9,085円**  
 (税引前分配金控除後)

**【分配金実績(税引前)】**  
**3,230円**  
 (設定来合計)  
 (2015/7/17現在)

＜基準価額(税引前分配金再投資ベース)の騰落率＞

2012年	2013年	2014年	2015年	設定来
13.58%	4.48%	2.26%	2.94%	24.91%

※2012年は設定日から12月末まで  
 ※2015年は7月17日まで

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。  
 ※基準価額(税引前分配金再投資ベース)とは、分配金(税引前)を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

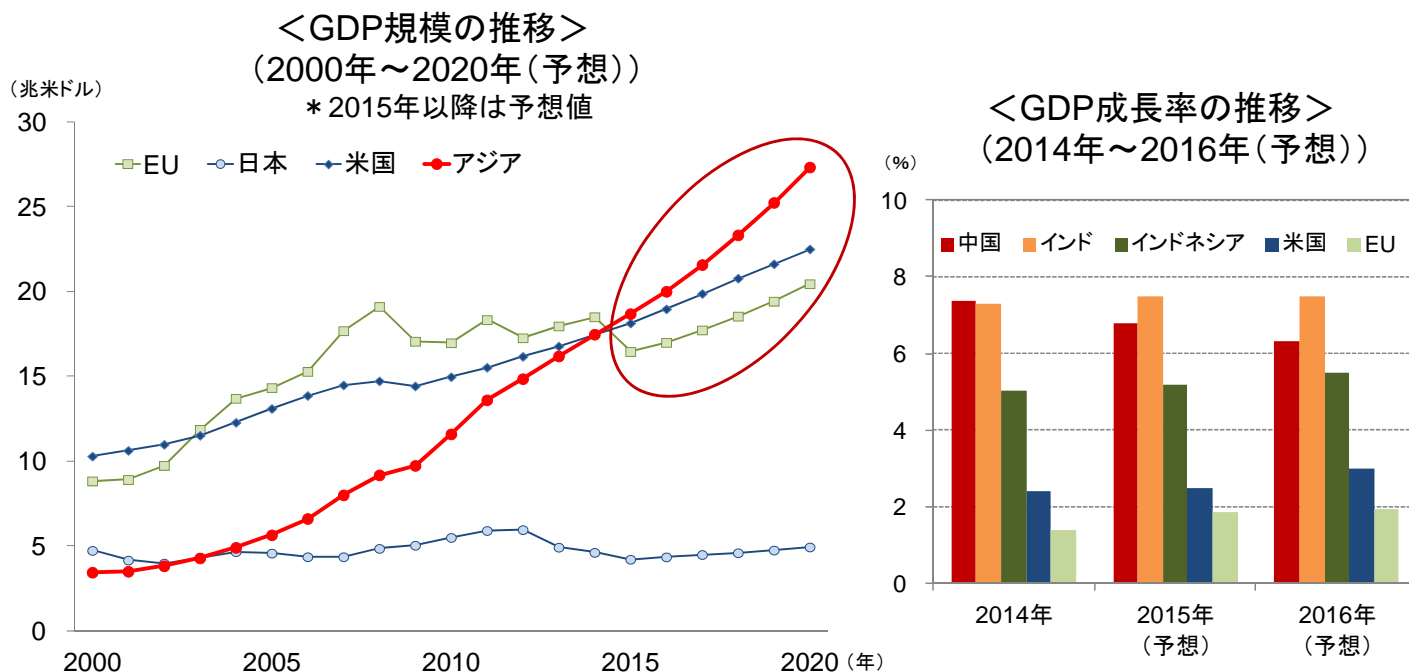
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)／(為替ヘッジあり)」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## アジアの魅力 ～相対的に高い成長が予想されるアジア経済～

- アジア経済は急速なペースで拡大してきました。アジアの経済規模は足元で米欧とほぼ同水準にまで達しており、今後は米欧を大きく上回っていくと予想されています。
- 新指導者のもと、改革期待が高まっているインドやインドネシアに加え、構造改革に注力している中国など、改革の進展とともに相対的に高い経済成長の持続が期待されます。

### アジアの経済規模は米欧を抜く見込み



出所: IMF「World Economic Outlook, April 2015」,「World Economic Outlook Update, July 2015」  
 ※アジアは、香港、韓国、シンガポール、台湾およびIMF定義による新興アジアをもとに、日興アセットマネジメントが算出  
 ※地域分類は出所元の定義によるため、アジアの定義は投資対象となる国・地域とは異なる場合があります。

※上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

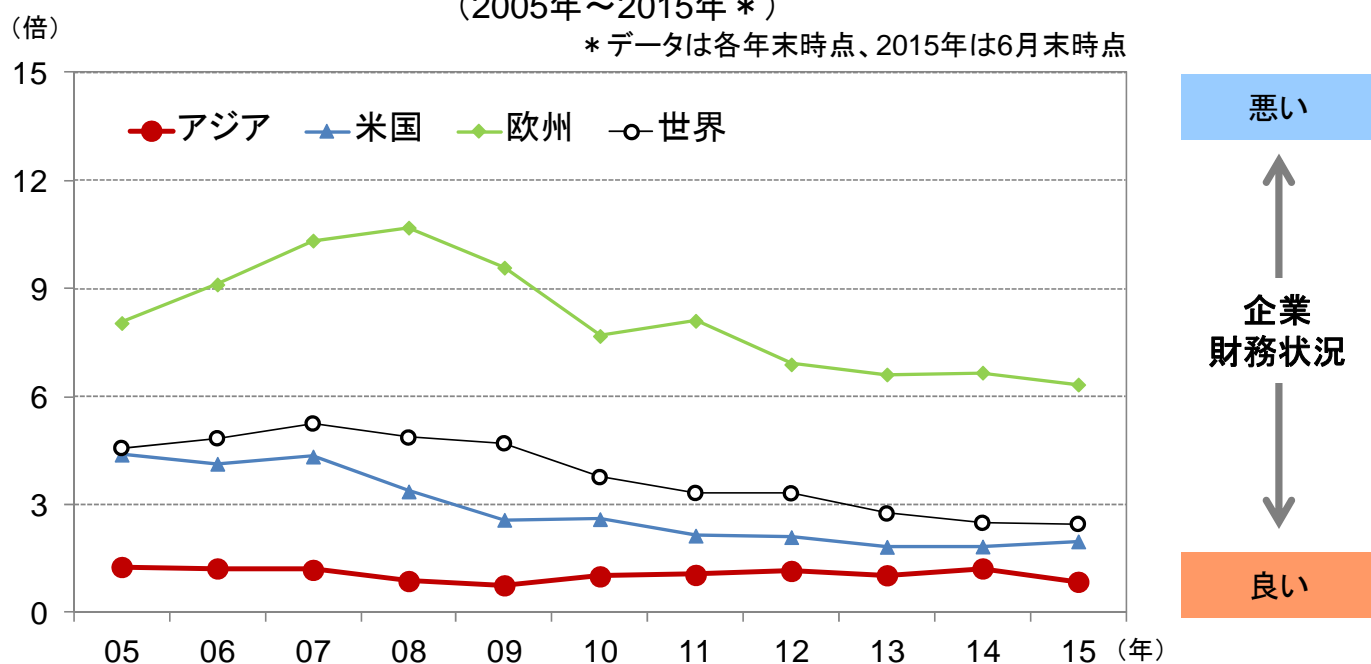
## アジア企業の魅力 ～財務状況は相対的に良好～

- アジア企業の財務状況は、近年、著しく経済成長が進む中、相対的に良好な状況が続いています。
- 新興国は、法制度・規制の整備、信用力などが先進国に劣ることから、新興国の社債の格付は財務状況よりも、保守的に付与される傾向があると考えられます。今後、国の経済成長や信用力の向上などに伴ない、企業の信用力の向上も見込まれます。

### 健全性の高いアジア企業の財務状況

＜純債務/EBITDA比率の推移＞  
(2005年～2015年\*)

\* データは各年末時点、2015年は6月末時点



※純債務/EBITDA比率とは、企業収益に対する企業の純債務の倍率を表し、倍率が低いほど企業の財務状況の健全性が高いことを示します。

アジア:MSCI ACアジア(除く日本)指数、 米国:MSCI米国指数、  
欧州:MSCIユーロ指数、 世界:MSCI ACワールド指数  
(信頼できると判断したデータを元に日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)／(為替ヘッジあり)」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## アジア・ハイイールド社債の魅力

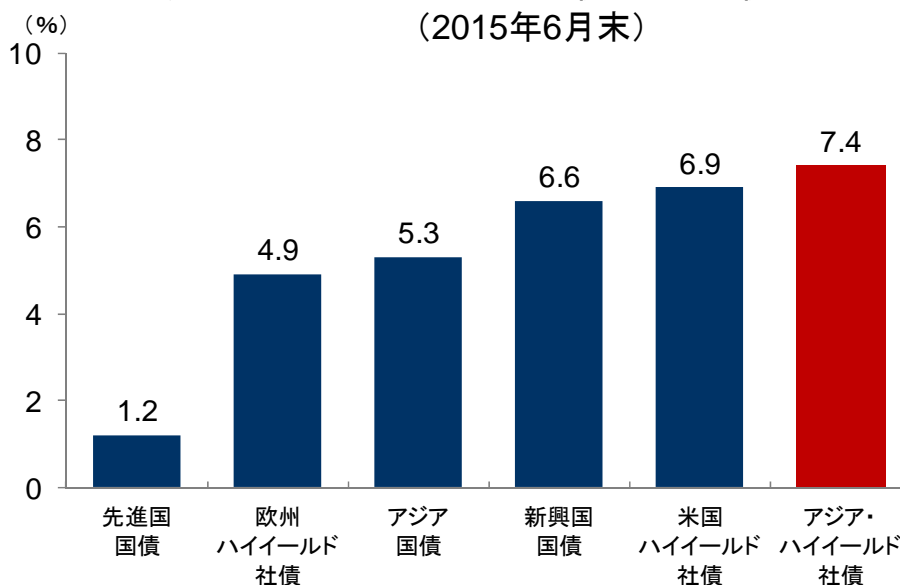
- ハイイールド社債は、相対的に高い利子収入が見込める資産であることに加え、発行体が企業であることから、景気が悪くなる時に強みを発揮する国債とは対照的に、企業業績が改善に向かう景気回復・拡大局面に、信用力改善などを背景に選好される傾向にあります。
- アジアの経済や企業業績の拡大に伴ない、ハイイールド社債は、信用力改善などを背景に値上がり益の獲得も期待されます。

### 1 相対的に高い利回り水準

- ハイイールド債券は、格付会社からBB+格相当以下の格付を付与された債券で、信用リスクが相対的に高いため、その見返りとして、利回りが国債や投資適格債券に比べて高くなっています。
- 投資環境などの影響を受け、ハイイールド社債の利回りは大きく変動することもあります。相対的に高い利回りは魅力のひとつとなっています。

### 魅力的なハイイールド社債の利回り水準

＜主要国・地域のハイイールド社債および国債の利回り＞  
(2015年6月末)



先進国国債	: シティ世界国債インデックス
欧州ハイイールド社債	: BofA メリルリンチ・ユーロ・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス
アジア国債	: JPモルガン GBI-EM ブロードアジアインデックス
新興国国債	: JPモルガン GBI-EM ブロードディバーシファイドインデックス
米国ハイイールド社債	: BofA メリルリンチ・USハイ・イールド・マスターⅡ・インデックス
アジア・ハイイールド社債	: JPモルガン アジア・クレジット・インデックス(社債、BB格以下)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様様に「アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)／(為替ヘッジあり)」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

2

## 相対的に高い利回りに加え、値上がり益も期待される

### ハイイールド社債の価格は堅調に推移

- 一般にハイイールド社債は、景気動向や投資家心理の変化から影響を強く受けるため、国債など信用力が相対的に高い債券に比べて値動きが大きくなる傾向があります。
- アジア経済は相対的に成長率が高く、アジアの株式は上昇傾向にあった一方、アジアの国債は2013年5月以降、米国の量的緩和の縮小観測などの影響を大きく受けて大幅に下落し、その後も小幅な上昇にとどまりました。このような中、アジアのハイイールド社債は、相対的に高い利回りや、良好な企業ファンダメンタルズなどを背景とした投資資金の流入などにより、相対的に堅調な推移を見せました。
- 今後も相対的に高いアジア経済の成長と良好な企業のファンダメンタルズを受け、ハイイールド社債の価格は堅調に推移すると期待されます。

＜アジアのハイイールド社債、国債、株式のパフォーマンス(米ドルベース)＞  
(2012/6/12(設定日)～2015/6/30)



国債:JPモルガン GBI-EM ブロードアジアインデックス(米ドルベース) (年/月)  
 ハイイールド社債:JPモルガン アジア・クレジット・インデックス(社債、BB格以下、米ドルベース)  
 株式:MSCI ACアジア(除く日本、米ドルベース、トータルリターン)  
 ※上記ハイイールド社債の指数は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)／(為替ヘッジあり)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

販売用資料

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

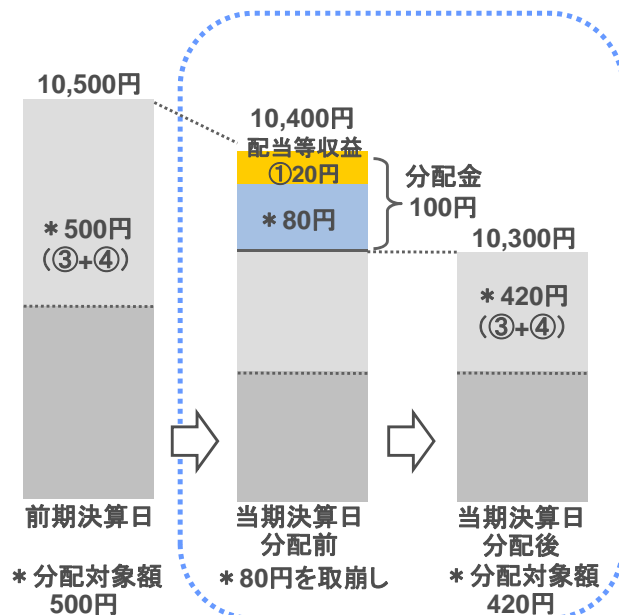
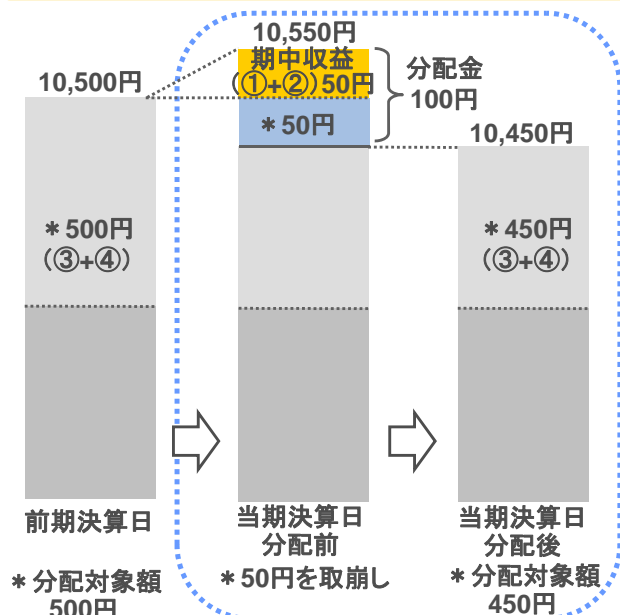


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合

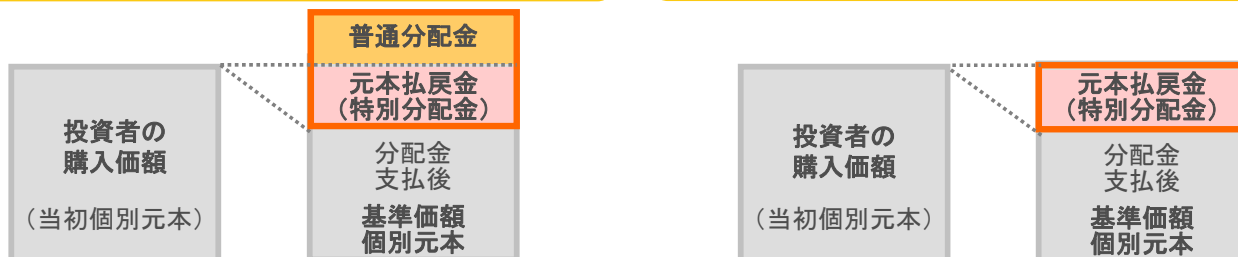


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。  
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
 元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## ファンドの特色

1. 主として、アジアの国・地域のハイイールド社債へ投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざします。
2. 日興アセットマネジメント アジア リミテッドが運用を担当します。
3. 「為替ヘッジなし」と「為替ヘッジあり」の2つのコースがあります。
4. 毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

## お申込みに際しての留意事項①

### ●リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

### 【価格変動リスク】

- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

### 【流動性リスク】

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

(次ページへ続きます)



## お申込みに際しての留意事項②

(前ページより続きます)

## 【信用リスク】

- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。
- ・一般にハイイールド債券は、上位に格付された債券と比較して、利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じる可能性が高いと考えられます。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じるリスクが高まる場合があります。

## 【為替変動リスク】

## ◆為替ヘッジなし

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として為替ヘッジを行わないため、当該資産の通貨の対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

## ◆為替ヘッジあり

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なうにあたっては、円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低い場合、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。為替および金利の動向によっては、為替ヘッジに伴うヘッジコストが予想以上に発生する場合があります。

## 【カントリー・リスク】

- ・投資対象国における非常事態など(金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## お申込みに際しての留意事項③

## ●その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／海外／債券
- ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 : 購入申込日がシンガポール証券取引所の休業日、シンガポールの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 2022年5月16日まで（2012年6月12日設定）
- 決算日 : 毎月15日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。  
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- ご換金不可日 : 換金請求日がシンガポール証券取引所の休業日、シンガポールの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
- 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。  
※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。  
※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。  
※配当控除の適用はありません。  
※益金不算入制度は適用されません。

## 手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- 購入時手数料 : 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、3.24%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める率とします。  
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

<<ご参考>>

(金額指定で購入する場合)

購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。

例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。

(口数指定で購入する場合)

例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.24%(税込)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。

購入金額 = (10,000円 / 1万口) × 100万口 = 100万円、購入時手数料 = 購入金額(100万円) × 3.24%(税込) = 32,400円となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万2,400円をお支払いいただくこととなります。

- 換金手数料 : ありません。

- 信託財産留保額 : ありません。

※販売会社によっては、スイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.77%(税抜1.69%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。

信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.08%(税抜1.0%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.69%程度となります。

受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- その他費用 : 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号  
 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。  
 日興アセットマネジメント株式会社  
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>  
 [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

●為替ヘッジなし

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
株式会社東京スター銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第579号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
株式会社三重銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第11号	○			
株式会社ゆうちょ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第611号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	○

●為替ヘッジあり

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
株式会社東京スター銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第579号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
株式会社ゆうちょ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第611号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	○

(50音順、資料作成日現在)